

# 緑肥作物の特性及び利用方法

緑肥作物の品種選定には、緑肥収量の高い品種が望ましく、従って品種の選定にあたっては、品種の特性を良く理解し土作りにより効果のある品種を選び、経営面積の20%以上に緑肥作物を鋤き込むように心がけましょう。

## ☑麦類への間作緑肥

- アカクローバ・ハミドリ---(北海道奨励品種・OECD登録品種)---収量多く、冬枯れにも強く越冬させて利用する場合にも良好。ネマトダに強く混播能力に優れており、緑肥効果は大きい。
- アルサイククローバ・テトラ---(OECO登録品種)---4倍体品種で、酸性地排水不良地によく生育し、収量はアカクローバと同程度かやや少ない。

## ☑豆類・玉葱への間作緑肥，馬鈴薯等の後作緑肥

- イタリアン・マンモスB---(北海道準奨励品種)---早生で生育が早く、茎葉が巨大で再生力の旺盛な4倍体品種。中まき等の弱光条件下では抜群の威力を示し、緑肥用としての1年生イネ科牧草のチャンピオン。
- イタリアン・マンモスA---茎葉が巨大な4倍体品種。北海道では播種当年は出穂せず、種子の落下による雑草化の心配がなく、取扱いが容易。
- ハイブリッドライグラス・テトリライト(OECD登録品種)---生育・再生が良好で、耐寒性の強い品種。積雪期間が110日以上でも越冬でき、緑肥として夏秋まきして翌春鋤き込み利用する場合に最適。

## ☑馬鈴薯等の後作緑肥

- エン麦・ハヤテ-----生育・出穂の早い極早生品種。葉幅が広く茎はやや太く、耐病性が強い。直立型で倒伏に強く短期栽培に適する。
- ライ麦・春一番-----在来種より春の萌芽・生育が早く、出穂期も約10日早い極早生多収品種。分けつ数はやや少ないが草丈は高く、倒伏に強い。

## ☑休閒緑肥

- グリーンソルゴー---倒伏に強く、耐病性の良好な多収品種。鋤き込みが比較的容易で（玉葱の苗畑にも好適）特にセンチュウ被害の減少に効果が大きい。
- ニューデント---耐病性・耐倒伏性が良好で、多量の粗大有機物が得られる。